



汐入公園マネジメントプラン

令和7年(2025)3月
東京都 建設局

目次

はじめに

はじめに

I 公園の概要	2
1 都市計画の概要	
2 開園の概要	
3 主な公園施設	
4 成り立ち・基本的な性格	
5 周辺の土地利用・自然環境	
6 利用概況及び特色	
7 整備計画等	
II 目指す姿及び重点取組、ゾーン別基本方針	5
1 目指す姿及び重点取組	
2 ゾーン別基本方針	
III 図面・写真	9
現況平面図	
周辺土地利用図(空中写真)	
周辺土地利用図(地図)	
占用基準を緩和する区域図	
園内の写真	
IV 資料編	12
公園の沿革	
利用状況等データ	
主な催し物	
主な活動団体	
関連する行政計画等	

公園別マネジメントプランは、都立公園全体の整備・管理運営の指針として、東京が目指す公園づくりの方向性を示すパークマネジメントマスタープランに基づき、公園ごとの性格・役割を踏まえて各都立公園の10年程度の目標や維持管理・運営管理等の取組方針を定めたものです。

改定にあたっては、今後新たな10年間を見据えた公園づくりを目指して、「公園別マネジメントプラン（共通編）」（以下、「共通編」という。）と「公園別マネジメントプラン（個別公園編）」（以下、「個別公園編」という。）の2編構成として取りまとめています。

共通編は、全ての都立公園の質を向上させるために取り組む基本事項を明らかにし、維持管理・運営管理・公園整備の3つの視点から実施すべき取組内容を示すとともに、全ての視点に共通する4つの事項（戦略的広報、協働、リサーチとマーケティング、デジタルトランスフォーメーション）における取組内容を定めています。

個別公園編は、それぞれの公園の特性を生かした多様な公園を創出するため、公園ごとに目指す姿や重点的な取組などを定めています。

共通編と個別公園編を踏まえたマネジメントを推進することにより、都立公園全体の機能や価値を向上させていきます。

共通編は別冊となっておりますので、本冊と合わせてご参照ください。

マスタープランが示す目標の実現に向け、施策を効果的に推進していくため、取組の進捗状況の確認と検証を行いながら、適切な進行管理を行っていきます。また、取組の進捗や社会状況の変化に応じて、取組を弾力的に進めていくことが必要であり、取組の内容や目標を発展的に見直していきます。

I 公園の概要

1 都市計画の概要

名 称	東京都市計画公園第5・5・36号白鬚西公園
位 置	荒川区南千住八丁目地内
面 積	12.9ha
種 別	総合公園
決定告示	(当初)昭和58年3月31日 東京都告示第356号 (最終)平成元年1月20日 東京都告示第46号

2 開園の概要

名 称	都立汐入公園 (しおいりこうえん)
開 園 日	平成18年4月1日
開園面積	129,369.83 m ² (令和7年2月1日現在)
公園種別	総合公園
所 在 地	荒川区南千住八丁目
アクセス	JR常磐線・東京メトロ日比谷線・つくばエクスプレス 「南千住」

3 主な公園施設

管理事務所、駐車場、ふれあい広場、多目的広場、日時計広場、バーベキュー広場、展望広場、芝生広場、複合遊具、野外ステージ、北多目的広場、テニスコート、保育園、荒川区防災備蓄倉庫

園内マップ



4 成り立ち・基本的な性格

汐入公園は荒川区の東部に位置し、白鬚西地区再開発事業の中で整備された公園である。隅田川に接し、再開発事業による中高層住宅や商業施設の中に立地しており、平常時におけるレクリエーション活動・スポーツ・文化活動拠点等のオープンスペースとしての役割を担っている。特に隅田川沿いについては親水空間としての位置づけがある。

なお、東京都地域防災計画及び荒川区地域防災計画により防災上の重要な位置付けを持っている。

5 周辺の土地利用・自然環境

(1)周辺の土地利用

- ・当公園は、白鬚西地区再開発事業の一環として整備され、平常時におけるレクリエーション活動・スポーツ・文化活動の拠点として、また、非常時には避難広場としての役割を担っている。
- ・公園へのアクセスは、J R常磐線と東京メトロ日比谷線の南千住駅から徒歩約 12 分である。また水神大橋により、対岸の東白鬚公園と結ばれている。
- ・周辺は再開発事業による住宅地や商業地のほか、都立航空高専等の教育施設や下水道のポンプ場、J R線と地下鉄線の車庫、東京ガスのタンクがある。

(2)自然環境

- ・当公園は、区部東部の川の手と呼ばれるゾーンに位置する。
- ・再開発事業により創出された公園で北側から東側を隅田川が流れている。

6 利用概況及び特色

利用者は周辺の住宅団地の居住者が中心である。芝生の広場等は散策・休息、家族でのピクニックや子供達の遊具遊びのほかイベント等に利用されている。大型遊具やピクニック広場のバーベキュー利用は人気が高い。多目的広場やテニスコートは、スポーツや軽運動に利用されている。隅田川沿いの展望広場や散策路は、散策・休息のほか、犬の散歩やジョギングに利用されているほか、隅田川の花火の際には、多くの人が観覧に訪れている。

①展望広場

隅田川と対岸を眺望できる。

②ピクニック広場

バーベキュー広場として利用されている。

③多目的広場

野球をはじめとした様々なスポーツを楽しむ。

④芝生広場

隅田川堤防上にあり、傾斜面の広場で野外ステージがある。

7 整備計画等

(1) 汐入公園整備計画(平成 8 年)

基本テーマ「豊かで多様な水辺と緑に彩られた、活力と潤いのある川
辺の広場公園」

1) のびのびと楽しめる、防災にも配慮したひろば公園

- ・災害時には避難広場として、平常時には市民スポーツ・各種イベントなどのレクリエーションの場として利用できる公園とする。

2) 水と緑の映える潤いある公園

- ・隅田川に接するリバーサイド部は、水辺の景観を楽しめる場とする。
また、緑に四季の変化を持たせ、堤での花見や紅葉で彩りを添えるよ
うな散策路や広場を整備。

3) 地域の歴史を生かした新しい公園

- ・地威の歴史を生かして施設のデザインを行い、新旧住民の交流の場を
整備する。

Ⅱ 目指す姿及び重点取組、ゾーン別基本方針

1. 目指す姿及び重点取組

目指す姿

災害時の防災機能の強化や、公園の緑に親しむ場の提供等の取組を進め、都市の防災力を支え、地域に愛着を持たれる公園としていく

この目標を達成するため、本公園では次のことに重点的に取組んで行く。

なお、各取組の具体的内容等については、事業計画等の作成時にそれぞれ設定し、マネジメントサイクルのなかで見直しを行っていく。また、各項目及び施策名はパークマネジメントマスタープランと連動している。

重点取組

(1) 公園施設の整備・維持管理水準の底上げ

【施策2 安らぎをまもる】

- 長寿命化計画に基づき老朽化した施設やインフラ設備の更新などを進めるとともに、多様な利活用ニーズに応える公園施設への改修を行います。

(2) 地震防災機能の強化

【施策3 命と暮らしをまもる】

- 震災時の避難場所として、非常用発電設備や防災照明等の整備を計画的に行います。

(3) 災害時対応の円滑化と訓練の充実

【施策3 命と暮らしをまもる】

- 避難場所となる多目的広場では、地元自治体や関係機関と連携した地域住民も参加する防災訓練や、防災フェアなどのイベントを充実させます。また、大規模救出救助活動拠点として、発災時の迅速な初動対応体制を強化するため、活動拠点の運営を行う現地機動班とともに定期的な訓練を実施します。

(3) 特色あるイベント等の充実

【施策6 にぎわいをふやす】

- 地域全体の魅力向上や活性化を視野に、自治体や近隣の文化施設、地元企業等多様な主体と連携した取組を進めます。

(4) インクルーシブな公園の創出

【施策8 つながりをふやす】

- 障がいのある子もない子と一緒に、安全に遊ぶことができるよう、だれもが遊べる児童遊具の整備を進めます。地域の方々へのアンケート調査等を実施し、こどもたちも参加して企画や設計を進めます。

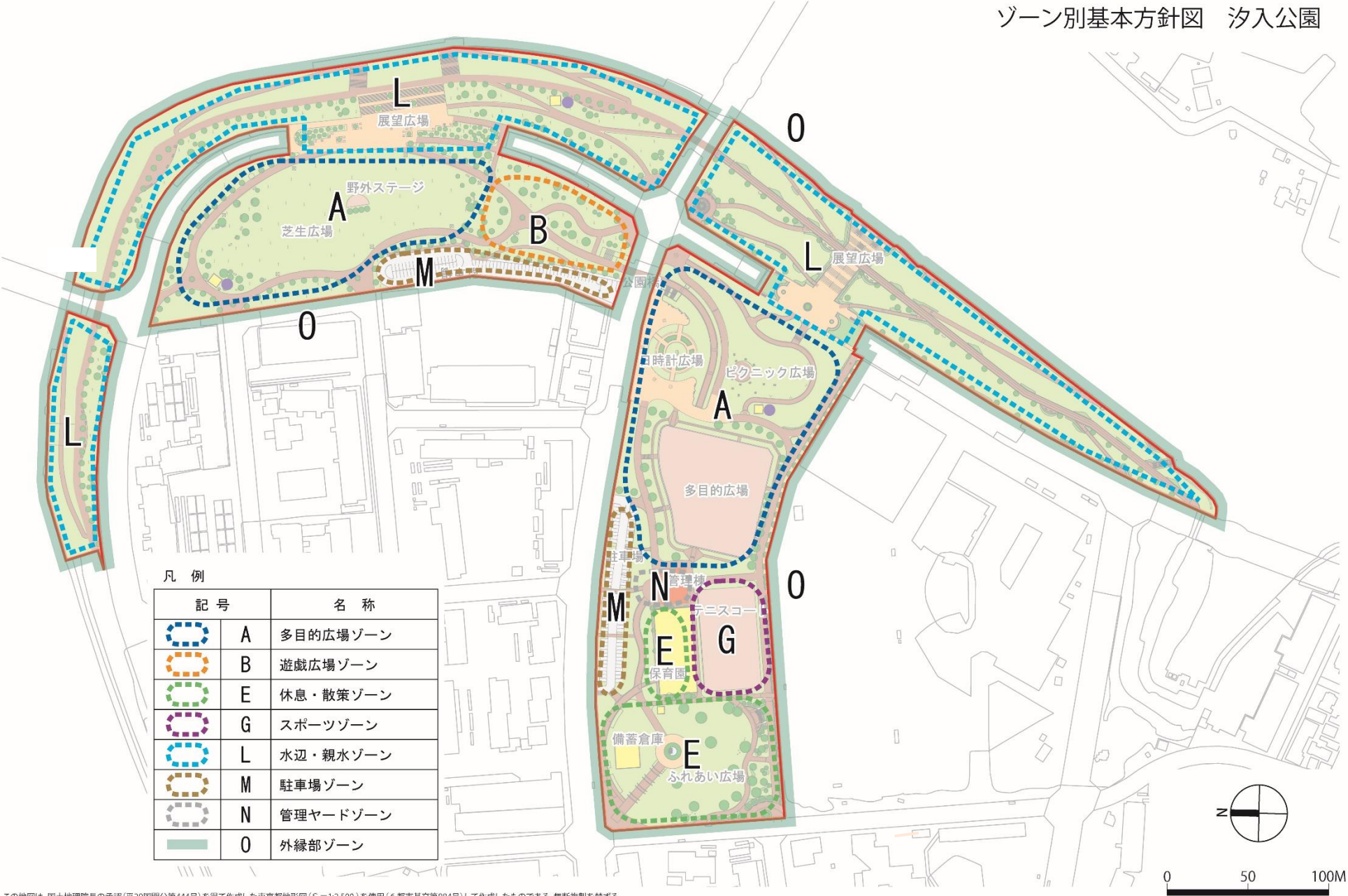
(5) 誰もが使いやすく楽しめる公園づくり

【施策9 施設や空間をかえる】

- 障がいのある子もない子と一緒に、安全に遊ぶことができるよう、だれもが遊べる児童遊具の整備を進めます。地域の方々へのアンケート調査等を実施し、こどもたちも参加して企画や設計を進めます。（再掲）

2. ゾーン別基本方針

ゾーン別基本方針図 汐入公園



■ゾーン別基本方針

管理運営や改修整備等を重点的・効率的に実施していくために、園内の各ゾーンについて現況等も踏まえ機能・目的・自然的環境等により類型化し、ゾーン毎の基本方針を定める。

なお、ゾーン別基本方針は、原則として開園区域を対象に定めるものとし、新規開園区域があった場合は整備内容等を踏まえ、必要に応じ追記等を行う。

記号	区分	基本方針
A	多目的広場ゾーン	・ 野外ステージと芝生広場のあるゾーン（北地区） ステージを利用したイベント、家族でのピクニックや大型遊具での子供たちの遊び等の利用に対応していく。 芝生広場については、良好な状態を保つよう、こまめな芝刈りを始めとした維持管理を行う。 ・ 多目的広場、日時計広場、ピクニック広場のあるゾーン（南地区） 地域のイベントや軽運動、休息や交流のほか、ピクニック広場でのバーベキュー利用などに対応していく。 なお、多目的広場については、東京都地域防災計画で大規模救出・救助活動拠点候補地、災害時臨時離着陸場候補地に指定されていることから、公園利用者への周知を図るとともに、災害時使用に支障がでないよう、防災訓練等を通じて現状を把握し、機能確保を図る。

記号	区分	基本方針
B	遊戯広場ゾーン	・ 複合遊具のあるゾーン 幼児向け遊具や大型複合遊具があり、公園を特徴づけるエリアとして安全で快適に利用できるよう対応していく。
E	休息・散策ゾーン	・ ふれあい広場のあるゾーン（南地区） 公園の入口であり、噴水施設などがあり、芝生広場での散策・休息、軽運動、および夏季の水遊び等に対応していく。
G	スポーツゾーン	・ 多様な運動施設のあるゾーン（南地区） テニスコート（4面）は有料施設等として、安全で快適に利用できるよう対応していく。

記号	区分	基本方針
L	水辺・親水ゾーン	・ 隅田川に面する展望広場などのあるゾーン（南地区、北地区） 隅田川と約 1km に渡って接する公園北側から東側の沿川部分は、周辺河川景観との連続性・一体性をもって、良好な沿川景観の形成に努めるとともに、快適な水辺環境の中で、安全にジョギングや散策などの利用に対応していく。 - 隅田川に約 1km に渡って接する公園部分は、河川テラスを介して川と一体になっており、連続的で伸びやかな空間である。ジョギングや散歩など河川敷での活動的なレクリエーション利用に対応していくと共に河川と公園の一体的な景観形成に努める。
		・ 公園橋のあるゾーン（南地区、北地区） 南北に分かれた園地をつなぐ橋であり、安全でスムーズな動線を確保し、快適に利用できるよう、また、公道に跨る橋として対応していく。 - 展望広場など、人工地盤上の植栽については、渇水対策等、良好な生育環境を維持していく。 - 水辺の親水ゾーン等の樹林地では、自然的環境を体感できるよう動植物の生育にも配慮した維持管理を行っていく。

記号	区分	基本方針
M	駐車場ゾーン	・ 駐車場のあるゾーン 案内機能の充実により、車両による来園者を円滑に誘導するほか、歩行者の安全確保に努める。
N	管理ヤードゾーン	・ 管理所のあるゾーン 多くの利用者の訪れる管理所へのアクセス路周辺等については、安全性や清潔さに留意する。また、管理ヤードからの作業車両の出入り時には利用者に注意するなど、安全確保に努める。
O	外縁部ゾーン	・ 民有地や公道などに接する公園外縁部 本公園の外縁部で、幹線道路に面する所では、道路植栽等と一体的に良好な沿道景観の形成を図る。また、河川区域と接する所では、周辺河川景観との調和を図り、快適な沿川歩行環境の形成を図っていく。その他、越流水などに対応していく。

Ⅲ 図面・写真

【現況平面図】



汐入公園
 (都市計画名: 白鬚西公園)

計画面積 12.9 ha
 縮尺 1:2,500
 撮影年月日 平成30年2月6日

洊入公園

:公園緑地
 :学校
 :特徴的な建物(神社仏閣など)
 :開園区域
 :高速道路
 :鉄道



園内の写真



ツインタワー



隅田川の向こうのスカイツリー



ハーブガーデン



時計塔

IV 資料編

■公園の沿革

昭和 58 年 3 月	東京都告示 356 号総合公園として都市計画決定
平成元年 1 月	東京都告示 46 号公園として都市計画変更
平成 8 年 11 月	東京都公園審議会より、都立白鬚西公園（仮称）の整備計画審議（答申）
平成 18 年 4 月	東京都告示第 460 号により開園（129,034.07 m ² ） 開園名称：汐入公園
平成 23 年 6 月	335.76 m ² を追加開園。
平成 29 年 4 月	国家戦略特区制度を活用した都市公園内保育所の設置特例で、全国初の認定を受けた保育所が開所

■マネジメントプラン策定履歴

平成 16 年 8 月	パークマネジメントマスタープラン策定
平成 18 年 12 月	汐入公園マネジメントプラン策定
平成 22 年 3 月	汐入公園マネジメントプラン改定
平成 27 年 3 月	パークマネジメントマスタープラン改定
平成 27 年 5 月	汐入公園マネジメントプラン改定
令和 4 年 9 月	汐入公園マネジメントプラン改定
令和 6 年 3 月	パークマネジメントマスタープラン改定
令和 7 年 3 月	汐入公園マネジメントプラン改定

■利用状況等データ

1)年間利用者数の推移

	5 年度	4 年度	3 年度	2 年度	元年度
年間総計 (人)	1,654,686	2,078,664	2,034,083	1,840,955	2,295,541

2)月別利用者数の推移

5 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
年間総数 (人) 1,654,686	221,768	155,683	91,410	108,749	77,722	91,323
	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
	149,210	145,094	130,936	101,111	101,985	279,695

3)有料施設の利用状況 (人)

施設名	5 年度	4 年度	3 年度	2 年度	元年度
テニス	15,354	16,465	16,960	10,007	17,798

■主な催し物(令和5年度実施分)

種別	No.	事業名	実施期間	参加人数(人)
イベント	1	季節飾り	7月1～7日	132
	2	アソビスクール	10月13日	8
	3	スポーツ教室	10月8日	約 200
	4	隅田川フェスタ	10月8日	300
都民協働	1	公園連絡協議会	6月13日	10
	2	きままにボランティア	5月10日・17日、11月1日・7日	71
	3	ハーブガーデンの魅力発信	6月4日	19
	4	地域連携防災訓練	3月11日	約 500
自主事業	1	公園フェスタ	8月5日・26日・27日	約 10,000
	2	隅田川花火大会	7月29日	60,000
	3	防災フェスタ	11月5日	約 800
	4	隅田川マラソン	2月	約 100
	5	工作教室	10月	50
	6	飼い主のマナーアップ	10月8日	10
	7	緑のカフェテラス	10月8日	—

■主な活動団体(令和5年度調査)

団体名	活動内容	人数(人)
汐入ハーブボランティア花壇管理	日時計広場のハーブ花壇管理	15

■ 関連する行政計画等

- ・「未来の東京」戦略（令和3年3月）
- ・新たな都立公園の整備と管理のあり方について（答申）（令和4年11月）
- ・都市づくりのグランドデザイン（平成29年9月）
- ・東京都福祉のまちづくり推進計画（令和6年3月）
- ・緑確保の総合的な方針（改定）（令和2年7月）
- ・都市計画公園・緑地の整備方針（令和2年7月）
- ・東京都地域防災計画 震災編（令和5年修正）
- ・荒川区地域防災計画（令和6年12月修正）